

第 1 回 豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会

1. 開催日時 平成30年6月26日（火）午後2時00分～午後3時30分
2. 開催場所 豊橋市役所東41会議室（東館4階）
3. 出席者 委員5名（石原委員長、功刀副委員長、大久保委員、酒井委員、鳥居委員）
豊橋市6名（吉原総務部長、前田行政課長、鈴木行政課主幹、野中行政課長補佐、石川行政課主査、土屋行政課担当）

4. 会議概要 以下のとおり

発言者	要 旨
事務局 (行政課長)	<p>ただ今から、第1回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様にはお忙しい中お集まりいただき、御礼申し上げます。</p> <p>本外部検証委員会は、外部検証委員会設置要綱に基づき設置される委員会です。本委員会は、広く市民の意見を求めるという性質に鑑み、「附属機関等の設置及び運営の基準に関する要綱、第9条第3号」の規定により、原則として公開し、会議は傍聴を可能とした上で、議事録を取り、ホームページ等で公開したいと考えておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>開催にあたりまして、総務部長の吉原よりご挨拶申し上げます。</p>
総務部長	<p>総務部長の吉原です。</p> <p>委員の皆様におかれましては、暑い中お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>平成30年度は、「豊橋市行財政改革プラン2016」の折り返しの年にあたります。本検証委員会の中で、平成29年度の評価をしていただき、またご意見を頂き、より行財政改革を進めていきたいと考えております。</p> <p>本検証委員会は今回を含めて3回程予定されております。活発なご議論をいただきますよう、申し上げます。</p>
事務局 (行政課長)	<p>今回は、今年度初めての開催となりますので、事務局職員を紹介させていただきます。</p> <p>《事務局紹介》</p>

発言者	要 旨
	<p>どうぞ、よろしくお願います。</p> <p>議事進行は、昨年度に続きまして 石原俊彦委員長にお願いしたいと思います。石原委員長お願いいたします。</p>
石原委員長	<p>石原です。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>それでは、次第に沿いまして事務局から行財政改革プランの取組状況について報告を願いたします。</p>
事務局 (行政課主幹)	<p>《行財政改革の取組について説明》</p>
石原委員長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>事務局からの説明についてご意見や質問等ございますか。私から意見を述べます。まず、施策番号21「内部統制の整備及び運用の推進」についてです。平成29年度に地方自治法が改正され、自治体には財務執行リスクを対象とした内部統制体制の構築が求められるようになりました。コンプライアンスなどの取組は見直しを考えた方がいいと思います。</p> <p>次に施策番号6の「公共施設等総合管理計画の策定及び推進」についてです。最近他の自治体では、公共施設の個別計画を策定し積算したところ、総合管理計画で考えていた費用よりも高くなったことから、総合管理計画を見直す傾向があります。この公共施設の更新費用の問題については、これから問題になってくると思います。</p> <p>豊橋市の公共施設の更新や改修に備えた基金はどのようなになっていますか。</p>
事務局 (行政課長)	<p>今年度、将来の公共施設の更新に備えて基金を創設し、現在1億円を保有しております。</p>
石原委員長	<p>中核市レベルで、財政調整基金を大きく取り崩している市もあります。</p> <p>豊橋市も大きい公共施設があるので、財政調整基金の残高を意識し、基金を積み立てる方向に舵を切らないと将来的に厳しい財政運営をせまられるかもしれません。</p> <p>市長や副市長に公会計を用いた経営的な感覚を持ってもらえれば、各取組の収支が改善するなど、効果があると思います。</p>

発言者	要 旨
大久保委員	<p>公共施設のあり方について、運営費用のみを考えていて、修繕などの減価償却をコストに入れていないのは経営面からはあり得ないことです。また、公共施設の統廃合についても、ずっと議論ばかりしている印象があります。実施に移す段階だと思えます。</p>
石原委員長	<p>行政は動き出すと、止めることが難しい面があるので、慎重になるのもしかたがない面があります。</p> <p>豊橋市は何か大きいプロジェクトを検討中ですか。</p>
総務部長	<p>プロバスケットボールチームのアリーナを核とした多目的施設を建設することを考えています。</p>
石原委員	<p>大きいプロジェクトでは、ブランディングやマーケティングなどのソフト面での戦略が必要です。例えばウイスキーのように、日本のモノが外国で有名になったら、日本国内でも評価されるブランド戦略を私は「越境ブランディング」と呼んでいますが、豊橋市はポテンシャルのある市なので、海外での越境ブランディングをすることを考えてみてはいかがでしょうか。</p>
功刀委員	<p>市民協働は難しいことだとは思いますが、取組が「c」評価が多いなと感じます。</p> <p>市役所は様々な委員会などを通じて市民から意見を求めていると思いますが、市民の意見を聞いたという言い訳のための外部委員会ならば、必要はないと感じてしまいます。</p>
大久保委員	<p>外部の委員から意見をもらうならば、具体的な数値を決めないと意味がないと考えます</p> <p>また、市民協働については、市から経済的補助はできませんが市民がやりたいことは行政が応援しますというメッセージを前に出した方がいいと思います。</p>
総務部長	<p>今までの経験から、市役所だけではできないことが多いので、市民団体と一緒にやらないといけないことは多いと感じています。</p> <p>市役所はまだまだ市民団体と一緒に動くことが苦手だと感じます。</p>
石原委員長	<p>市民協働では、市と市民が直接つながるよりも、間にNPOが入るとうまくいきます。</p> <p>イギリスには「ACEBO（アキーボ）」という、NPOを</p>

発言者	要 旨
	<p>会計事務などの面で支えている組織があるのですが、豊橋市でもNPOを実務面でサポートして、本来の任務に注力できるような環境を作ればNPOが増えると思います。</p>
功刀委員	<p>行政とNPO法人をマッチングできる機能をもった組織があればいいと思います。</p>
石原委員長	<p>貧困・環境・教育等の社会問題は、NPO法人が成長しないと解決できません。社会が複雑化しすぎているのですべてを行政で解決するのは、無理ではないでしょうか。</p> <p>また、大阪北部地震でも、現場の教師はブロック塀の危険性を把握していたそうです。そのように、現場の声がすぐに予算に反映されないのは問題だと感じます。例えば、財政課の担当者が、予算要求が出てくる時期までは、現場を見て回ってはどうか。</p>
酒井委員	<p>施策の評価にばらつきがあるのが気になりました。目標指標に対して実績値が150%や180%の施策もあります。</p> <p>また、施策の「◎」評価が多い印象を持ちました。</p> <p>指標を変えることはできないかもしれませんが、何故早期に目標が達成できたのかという理由の記載が必要だと思いました。</p> <p>また、前年から評価の変化が見えるといいと思いました。</p>
鳥居委員	<p>「国民健康保険事業の健全な運営」の取組で口座振替を推進していますが、社会保険の加入範囲が広がったことにより、その分国民健康保険加入者層が薄くなり、被保険者の負担能力が低下しています。</p> <p>そのような状況で、口座振替を推進しても、どこまで特別会計の健全化に寄与するか疑問です。</p>
事務局 (行政課長)	<p>被保険者の平均所得が低めで、構造的に厳しい状況ですが、収納率を上げるために、口座振替推進の取組みをしています。</p>
石原委員長	<p>国民健康保険特別会計については、収納率を上げるだけではなく、例えば、保健師を増員し地域包括ケアの発想で高齢者に公園で運動をしてもらうなど市全体として医療費を低減する取組をした方が、効果があると思います。</p>
石原委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、今後の開催日程を確認したいと思います。</p>

発言者	要 旨
事務局 (行政課長)	<p>次回以降の日程について説明します。第2回は7月24日(火曜日)で、時間は午後13時30分からとなります。</p> <p>また、第3回は、8月9日(木曜日)の午後の開催を予定しております。</p>
石原委員長	<p>それではご発言がなければ、これをもちまして本日の委員会を終了いたします。</p> <p>皆様ありがとうございました。</p>